

令和8(2026)年度 学校経営の方針

新温泉町立温泉小学校

＝基本姿勢＝

- ・ふるさとを愛し、誇りに思い、地域の一員としての自覚を高める教育活動の推進
- ・多様性と包摂性、生命の尊厳と人権尊重の精神を基盤にした教育活動の推進
- ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた「予測困難な時代を生き抜く力」を育む教育活動の推進
- ・全教職員の豊富な知識や発想と限りない情熱、高い倫理観を結集させた「チーム温小」としての教育活動の推進
- ・県教育委員会の「指導の重点」、町教育委員会の「教育構想」を踏まえた教育活動の推進

校訓 「至誠」

【学校教育目標】

「ふるさとを愛し、こころ豊かで共に輝く 温小っ子の育成」－ 元気 やる気 思いやり －

くめざす学校像>【家庭・地域が応援してくれる】

- 1 安心・安全な学校 …… 教育環境の整備に努め、児童の命を大切にする学校
- 2 力を伸ばす学校 …… 児童の「生きる力」をバランスよく育てる学校
- 3 信頼される学校 …… 家庭・地域の期待に応える、地域とともにある学校

くめざす児童像>【「在りたい未来」を創造する】

- 1 元気なあいさつをかわす子 …… 心身共に健康で、人とのつながりを大切にする子
- 2 やる気をもって学ぶ子 …… めあて・意欲を持って、主体的に学ぶ子
- 3 思いやりの心をもつ子 …… 他者と協力・協働し、共に伸びる子

くめざす教職員像>【研究と修養に努め、自らを磨き、高める】

- 1 学び続ける教職員 …… 自己研鑽、授業改善、業務改善に努め、児童の力を高める教職員
- 2 一人一人を大切にする教職員 …… 児童理解に努め、児童の良さ・可能性を伸ばす教職員
- 3 人間性豊かな教職員 …… 人権感覚を磨き、使命感と情熱を持ち続ける教職員

■経営の視点

1 「確かな学力」の育成

- ICTを活用しながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を促進する
- 家庭と連携し家庭学習・読書の習慣化や基礎・基本の確実な定着を目指す。

2 「地域とともにある学校」づくりの推進（「ふるさと教育」の充実）

- 「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」の取組を通して、地域全体で児童を見守り、育てる＝「地域とともにある学校」づくりを推進し、家庭や地域との信頼関係の確立に努める。
- 「地域学校協働活動」等、地域の人々とのつながりを深める体験活動を展開し、命と人権を重んじ、思いやりに満ちた人間関係の構築を目指す。また、地域の人々とのふれあいを通じて地域の一員としての自覚を高める。

3 「特別支援教育」の充実

- 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のため、ユニバーサルデザインを導入し、一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場と、適切な指導及び必要な支援の提供を図る。
- 幼小中連携を強化し、「小1プロブレム」「中1ギャップ」の未然防止を図る。

4 教職員としての資質・実践的指導力の向上

- キャリアステージや能力、適性に応じた研修を受講し、専門性や実践的指導力の向上に努めるとともに、教職員としての使命感と高い倫理観の保持、豊かな人間性の涵養に努める。

5 「働きがいのある学校づくり」の推進

- 教職員の勤務時間適正化に向け、校務のICT化や勤務環境の整備、定時退勤日の取組、年休の計画的取得などを推進し、教職員のワーク・ライフ・バランスを図るとともに、質の高い教育を実現する。
- 心の通い合う学校運営に向け、プロフェッショナル集団「チーム温小」として対話を重視した協働体制を構築するとともに、同僚性を高める。